

平成 29 年度第 4 回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:平成 30 年 3 月 10 日(土) 15 時 45 分～16 時 40 分

会場:瑞浪市産業振興センター3 階 大ホール「瑞雲」

出席者(敬称略): 渋谷典子、近藤悦子、古澤辰広、浅沼克郎、小木曾みどり、板垣城二、
安永幸子、工藤美佐子、大竹悦子、津毛信代、最上幸子、森孝浩、
西尾直美、伊佐治康利、安藤八重子

〈事務局〉 まちづくり推進部長 加藤誠二、生活安全課長 三浦正二郎
生活安全課人権啓発係 和田真奈美、山崎道美

議題: (1)平成 29 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(2)平成 29 年度瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告について
(3)平成 30 年度瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(省略)

2. 座長あいさつ

(省略)

3. 議事

会議参加者から、釜戸中学校3年生による「女性の輝く未来の扉」の発表会について紹介

(進行:座長)

(1)平成29年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について(意見交換)

(座長)本日の講演会について意見交換を行いたいと思います。ご自由にご発言下さい。

(参加者)今回は、「講演で学んだことを一言で言えるようになる」という目標がはっきりしていたので、達成率の高い講演会だったと思います。

(参加者)講演というと聞かばかりということが多いのですが、歌うことができたのがよかったです。聴講された方も声を出した方が楽しかったのではないかと思いますので、このやり方はとてもよいと思いました。

(参加者)難しい内容を法律用語の説明とともに、わかりやすく教えていただけたと思います。落語の中にも「いい加減目覚めて下さい。」というのがありますが、難しい問題なので一年では目覚めることはできないかもしれません。20年後か40年後になるのかもしれませんが、小学生・中学生の頃からずっと地道に積み上げていくことや広めていくことが、学校教育においても家庭でも地域においても、ジェンダーハラスメントを許さないということにつながっていくのかなと思いました。

(参加者)人前で歌うためには練習を重ねて本番を迎えるところ、今回はリハーサルを2回行っただけでしたが、リハーサルの段階でどこに出しても恥ずかしくない、施設訪問も十分行えるレベルでした。皆さん一生懸命歌っていただきありがとうございました。ジェンダーハラスメントに関しては、本日の「うたごえ広場」で女性を前に男性を後ろに配置し2列で歌っていただきましたが、男女を差別しないという観点から、このあたりはどうなのかと思いました。また、司会を女性2人にやっていたいただきましたが、やはり司会は女性の方がいいですねと言いきなりやめました。本会議に参加して4年になりますが、こういう意味があったのかと気づかせていただいた講演でした。ありがとうございました。

(参加者)天気もよく参加者も思ったより多く130人を超えてよかったです。「うたごえ広場」で会場の雰囲気は温めていただき、皆さんが盛り上がりって和やかな雰囲気の中で講演が始まったと思

います。司会については、2人で手を握り合い励まし合って進行しました。ギターを生演奏を横で聞くことができ幸せでしたし落語も楽しい話でした。古い考え方ですが、私は父親から「女の子は女らしくなさい」とか「女のくせに」、「女に教育はいらない」と言われて育ち、ちょっとは気づくこともありましたが、それを当たり前のように感じていました。そういうことがあまり気にならないということがあって、こういうところは男性がいいね、こういうところは女性がいいねと言われてもなんとも思っていなかったのですが、ジェンダーハラスメントについてうっすらと考える段階になったところではあります。

(参加者)「第1次みずなみ男女共同参画プラン」の策定時に少し関わっており、男性の方々の意見も聴いていましたが、当時はジェンダーハラスメントに気づくという話をされる方はいませんでしたので、随分意識が変わってきていると感じました。以前はこのような講演会を開催しても、理解していただくということもありませんでしたし、内容も上から目線で押し付けるような講演会でした。今日は「うたごえ広場」が最初にあり、講演にもすっと入っていくことができ、講師の話も笑いがあってわかりやすくよかったです。今日は受付をしましたが、自分たちが紹介した方ではない方々が結構参加されました。申し込んでいないのですがいいですかと言われるのはほとんどが男性の方で、15年前とはまったく変わってきたのだと感じました。また、落語の登場人物は若い方だと思いますが、自分達は経験しましたが、未だにああいう思いをされているのかということが気になりました。

(参加者)ジェンダーハラスメントという言葉は、座長から大学で教えていることだとお聞きして、最初はそんな言葉があるのだと思っていましたが、今は自分の言葉にして覚えなければいけないということをひしひしと感じました。今日来ていただいた方達は、自分達より年上の方が多かったのですが、定年を迎えて夫婦での生活を始めるにあたり、今までのような、男性はこれをしない、女性はこれをするということと、おそらく今格闘しながら二人で頑張ってみえる年代だとお見受けしました。今日の内容は意外とすんなり受け入れていただけたのではないかと思います。逆に、自分は会社員を経験しなかったのわからないことがあります。仕事をやる上ではまだまだ女性の働き方が変わっていないのかなと思いました。私の地区では町内会の役員は代々男性が務めており、今回夫が引き受けることになりました。これまで毎月の常会は自分が行っていましたが、役員になったことで夫が行くようになり、町内会のことはあまり知らないであろうのに、男性は自分達が仕切った風でやっているのをおかしいなと思いつつ、女性ももっと出てみえるといいなと思いました。

(参加者)本日はありがとうございました。最初に会場の皆さんが「うたごえ広場」で歌うことができ、とてもよい雰囲気だったのでよかったです。落語の中で、私もこれを言っていたなということがあり、子どもには自分がされたら嫌なことを人にしてはだめだと言って子育てをしてきましたが、自分が嫌だと思ふことと他の方が嫌だと思ふことは違うことを学び少し反省しました。しかし、自分達の子ども達が、男女共同参画について考えていますし、先程の中学生による男女共同参画に関する発表をお聞きして、今後は未来も拓けてきたのではないかと感じました。

(参加者)先程から発言があるように、講演会参加者の皆さんと一緒に歌って下さったことがとてもよく、自分も歌いながら参加者の方を見ると一生懸命歌って下さっていたので、とてもうれしい気持ちになりました。娘が大学生でジェンダーについて学んでいるようです。私も男女共同参画に関わっていることを話すとそんなことをやっているのかと言われます。自分が結婚した時は、夫の母も祖母もおり人手があったので、夫は大事な長男として育てられて何もしない人だったのですが、祖母も母も亡くなり、今は私達夫婦二人だけになりましたが、夫が色々やってくれるので助かっています。息子が結婚を控えており、色々やらないといけないよと自分が感じたことを息子に伝えています。実際に行動するかどうかはわかりませんが、やらないと相手から愛想をつかさされるよと二言目には言っています。子ども達はジェンダーについての意識はあると感じています。

(参加者)このような活動に初めて参加させていただきましたので、本当にとまどうことばかりでした。講演会も初めてですし、市がこうした活動をしていることも初めて知ったような状態でしたので、今日はとてもいい勉強ができたと思います。私達が就職した頃は、女性はお茶くみが当然のごとくあった時代でした。その中で反発することがあったり上司と喧嘩をしたり、小さい悩みですが色々なことがありましたが、そのようにして社会人生活が始まったことが思い出されました。今、息子や娘の夫を見ていますと、私達の頃と比べると男女の格差は随分違ってきているのは事実だと思います。また、これから10年経つと、それはもっともっと進んでくるのではないかと感じつつ今日の講演を聞かせていただきました。

(参加者)男女共同参画とは何かということで、目からうろこの講演会でした。11文字のジェンダーハラスメントという言葉が衝撃的で、それについて簡単にイメージすることができるようになりました。今日、講演会に参加してみて、全体的に少しテーマが重い感じがしましたが、色々感じるがありました。今後もこのようなイベントをされていかれるかと思いますが、その時にあの重さはなんだったのだろうと思うかもしれません。勉強にはなりました。

(参加者)最初の「うたごえ広場」では会場の方達も一緒に歌っていただいて、こちらの声が出ないのもカバーしていただいたと思います。落語もわかりやすく聴きましたし、落語の後の講師による説明も大変よくわかる内容でよかったと思います。私事ですが、娘が今度出産することになり、会社を退職するかどうかで色々悩んでいるようです。退職願を出すと、上司の方がまだ出さなくてもいいのではないかとと言われると言います。私一人なので、二人の面倒を見るのはどうかと悩んでいるところです。娘達に限らず孫達も、どうしても女性に頼る面もありますので、どうしたものかと悩んでいます。

(座長)お住まいにもよりますが、社会的なサービスを多く利用できればいいですね。今日の講演でも触れられましたが、祖母がいると保育園に入園する優先順位が下がるのに、祖父の場合は下がらないという話を初めて聞いてびっくりしました。祖父力も大事だと思うのですが、地域で助け合うなど今は工夫をすれば乗り越えられることもあるのではと個人的には思います。辞めるのは簡単ですが、余計なことかもしれませんが仕事を続けることができるとよいと思いました。

(参加者)「うたごえ広場」のCDを送っていただいたので、それを家で聴きながら、わからないところを繰り返し練習し参加させていただきました。会場も和んだ雰囲気でもよかったと思います。男女共同参画落語に関しては、ビデオを撮らせていただきましたので、これを自分でもう一度聞いてうまく吸収し、自分だけでなく我々が世の中にはこういうことがあるんだよ、こうなんだよということを、これから皆さんに伝えていければということを感じました。まずは、妻に聞かせたいと思います。講演内容については、私自身のことかもしれませんが、どちらかという女性より男性の方が意識改革をしなければいけないのかなと、もっともっと勉強することがあると思いました。先程の座長の話にもありましたが、祖母祖父共にいても祖父は働き口があるから育児に関係ないというのは、祖父の出番という人権もあるのではと少し感じました。今日は有意義な講演を聴かせていただきました。

(座長)私自身の話になりますが、父が孫を保育園に迎えに行った時に父親と間違われ気を良くしていました。保育士の方が気を利かせて下さったのかもしれませんが、それから父は迎えに行きたくて仕方がなかったことを思い出しました。祖母力というと孫のケアという面が思い浮かびますが、そうではないところもあるのではないかなど色々思い出しました。

(参加者)今日は天気予報が雨だったので心配しましたが、晴天になり、参加者も130人を超えて講演は成功ということで、よい一日でした。私自身の経験ですが、教員をしていた頃、私の先輩方は育児のためにいったん退職し、3年間に県の試験を再度受けて教員に復帰できるという制度でした。私が娘を出産した年の4月1日から、育児休業制度が施行されるかどうかということになり、退

職するのか悩みました。結局退職することなく、私が岐阜県の育児休暇取得者第1号になりました。その後、体調を崩し退職しようと思った事もありましたが、周囲の方々に助けられ40年間勤め上げることができました。今日紹介した男女共同参画について発表した子ども達に会い、また、それぞれが無事高校へ巣立って行けたことはよかったです。夫が初孫に象さんの歌を歌っていると「母さん」と歌うパートでそれは「祖父さん」だと言いました。娘が結婚した時は父のような人が理想の結婚相手と言い、息子は自分が尊敬する人は父ですと言います。私自身も定年退職した時に離婚を覚悟しましたが今に至っています。こうして世の中が進んでいることに感謝しています。(座長)ありがとうございました。これですべての方にご発言いただきました。ご意見などがあればお願いします。ないようですので、議題2に移ります。

(2)平成29年度瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動報告について

(座長)議題2について、事務局から説明願います。

(事務局)平成29年度活動報告について説明。「ちょっといい話7」と「男女共同参画市民意識調査報告書」を配布

(座長)ご質問やご意見などはありますか。ないようですので議題3に移ります。

(3)平成30年度瑞浪市男女共同参画社会推進会議活動計画について

(座長)議題3について、事務局から説明願います。

(事務局)平成30年度活動計画について説明し、下記事項を決定

- ・第1回推進会議は5月11日(金)または25日(金)のいずれかで調整する。
- ・市民講演会のテーマと日程については、第1回推進会議で改めて協議する。
- ・第1回学習会は座長を講師に迎え、第1回推進会議終了後の同日に行う。

(座長)これで議事がすべて終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

(事務局)スムーズな進行をありがとうございました。本日は大変有意義な講演会及び推進会議を開催することができました。平成30年度第1回推進会議は日程調整後ご連絡します。皆様のお知恵をいただきながら、本市の男女共同参画を進めていきたいと思っておりますので、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。これをもちまして、平成29年度第4回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を終了します。本日はありがとうございました。

閉会